

令和4年度青森県普通会計決算のポイント

1 決算概況及び規模

歳入については、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税の減等があり、前年度を下回った。歳出については、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策に取り組んだ一方で、普通建設事業費や公債費の減等があり、前年度を下回った。

財政健全化法に基づく健全化判断比率等については、これまでの財政健全化努力により、いずれも同法に定められた基準を下回り、健全性の確保が図られている。

- 歳入 7,986億 98万6千円（前年度 8,149億4,591万3千円、前年度比△2.0%）
- 歳出 7,706億1,574万4千円（前年度 7,798億 522万7千円、前年度比△1.2%）

（※決算統計における新型コロナウイルス感染症対策関連経費に係る決算額）

- 歳入 956億 892万1千円（前年度 981億6,820万9千円、前年度比△2.6%）
- 歳出 959億8,220万3千円（前年度 996億8,451万4千円、前年度比△3.7%）

（※決算統計における物価高騰対策関連経費に係る決算額）

- 歳入 122億2,146万8千円 ○歳出 129億3,159万円

2 決算収支の状況

- 実質収支 78億9,061万円（前年度 79億6,984万2千円）
- 単年度収支 △7,923万2千円（前年度△16億3,192万3千円）
- 実質単年度収支 △42億7,448万2千円（前年度△43億5,356万2千円）

3 財政指標等の状況

（単位：%、億円）

〈決算統計関連指標〉	4年度	3年度	増減
経常収支比率	94.5	88.9	5.6

〈健全化判断比率〉	4年度	3年度	増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	3.75	5.0
連結実質赤字比率	—	—	—	8.75	15.0
実質公債費比率	13.1	12.5	0.6	25.0	35.0
将来負担比率	74.3	82.1	△7.8	400.0	—

〈資金不足比率〉

工業用水道事業、病院事業、下水道事業、港湾整備事業のいずれの会計も資金不足は生じておらず、経営健全化基準に該当しない。

〈地方債残高〉	4年度	3年度	増減
普通会計	9,307	9,836	△529
一般会計	9,154	9,681	△527

〈基金残高〉	4年度	3年度	増減
財政調整基金	160	164	△4
県債管理基金	188	188	0
その他特定目的基金	987	871	116
合計	1,335	1,223	112